

軸付カップブラシ (ユニロン) ・成分表、安全シート

柳瀬株式会社
兵庫県丹波市山南町谷川1385
TEL: 0795-77-2151
作成日: 2008年9月30日
変更日: 2015年10月30日
整理番号: MSDS-Z154

危険有害性の要約

GHS 分類 : GHS 分類対象外
物理的科学的危険性 : 通常の状態では危険性は特くない
健康有害性 : 現在の所、有用な情報は無い
環境影響 : 現在の所、有用な情報は無い
上記 GHS 分類は含有する安衛法通知物質について、NITE に掲載されている情報を基に作成しています。

組成、成分情報

単一化学物質・混合物の区別: 混合物

構成	成分 (ワケ目)	化学式又は構造式	化審法 (No.)	CAS No.	重量比 (%)
ブラシ	ポリアミド6	$-\text{NH}(\text{CH}_2)\text{NHOCO}(\text{CH}_2)8\text{CO}-$	7-382	26098-55-5	25~30
金具・軸	鉄	Fe			70~75

※特定化学物質は、含まれておりません。

応急措置

目に入った場合: 研削時に発生する粉塵が目に入った場合は、直ちに清浄な水で洗眼し、必要なら医師の手当を受ける。

皮膚に付着した場合: 有害物とは考えられないが、何らかの症状が現れた場合は医師の治療を受ける。

吸入した場合: 研削時に発生する粉塵を吸入した場合は、直ちに空気の新鮮な場所に移動し、必要なら医師の手当を受ける。

飲み込んでしまった場合: 多量の水を飲ませ嘔吐させる。

火災時の処置

消火方法： 初期火災は粉末消火剤などで消火する。火災が広がった場合は大量の散水で延焼防止する。

消火剤： 粉末・水等 火災用消火剤を使用する。

漏出時の措置

人体に対する注意事項： 研削時に発生する粉塵が目に入った場合、水で数分間注意深く洗う。

保護具及び緊急時措置

粉塵を収集する場合は保護具（保護メガネ・防塵マスク等）を着用する。

環境に対する注意事項： 特になし

取扱い及び保管上の注意

取扱い： 研磨作業を行う場合は、保護具（保護メガネ・防塵マスク）を常に着用すること。又は作業付近にいる場合は保護具（保護メガネ・防塵マスク）を着用すること。

保管： 火気厳禁。製造日より1年以内に使用する。冷所、乾燥した場所に保管する。

暴露防止及び保護措置

設備対策： 適切な局所排気装置を使用する。

本品が空気中に滞留しないように適切な換気や局所排気を行うこと。集塵装置を使用する。

管理濃度：

名称	CAS No.	管理濃度
ポリアミド6	26098-55-5	設定されていない
鉄金具 (SWG)	なし	設定されていない

許容濃度

ポリアミド6： 日本産業衛生学会 許容濃度 TWA：設定されていない

ACGIH-TWA：設定されていない

鉄金具 (SWG)： 日本産業衛生学会 許容濃度 TWA：設定されていない

ACGIH-TWA：設定されていない

保護具

呼吸保護具： 研磨作業中に発生する粉塵の吸入を避ける。

研磨を行う場合は、適切な局所排気装置を使用する。加工する全材料の暴露濃度評価すること。呼吸保護具を選択する場合は、研磨される材料を考慮すること。過度の吸入暴露は避けるため、適切な呼吸保護具を選択して使用すること。

保護メガネ： 目への接触を避ける。

顔と目の損傷リスクを最小にするため、研磨作業を行う場合は、目及び顔面保護具を常に着用すること。粉塵、浮遊物が目に接触することを避ける。サイドシールド付きの安全眼鏡。

保護手袋： 粉塵に接触又は研磨材に接触して起こる皮膚の損傷リスクを最小にするために適切な手袋を着用すること。暴露評価に準じた手袋と保護衣については、使用状況に適した材質であるかどうかをメーカーに訊く。

保護衣： 皮膚との接触を避ける。

物理的及び化学的性質

外 観： 円筒形の有色固体で内側に金属の金具を有する。

溶 解 性： 水に不溶。

沸 点： 適応しない。

融 点： 未測定、不明。

溶 解 度： 未測定、不明。

引 火 点： 適応しない。

発 火 点： 適応しない。

爆発限界一下限(%)： 適応しない。

爆発限界一上限(%)： 適応しない。

蒸 気 圧： 適応しない。

比 重： 未測定、不明。

安定性及び反応性

安定性・反応性： 大気中で安定。

避けるべき物質： 知見なし。

有害な分解物： 一酸化炭素（燃焼中）。二酸化炭素（燃焼中）。

有害性情報

目に入った場合： 発赤。角膜の傷、催涙を含むことがある。

皮膚に付着した場合： かゆみ。発赤を含むことがある。

吸入した場合： 咳、くしゃみ、鼻水、鼻と喉の痛み等、呼吸器系を刺激することがある。

環境影響情報

残留性・分解性： 知見なし。

生体毒性： 知見なし。

土壌中の移動性： 知見なし。

廃棄上の注意

廃棄に関する特記事項： 関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。行政の認可を受けた産業廃棄物業者に内容を明確にして処理を委託する。

輸送上の注意

国連番号及び品名： 該当しない

国連分類 (IMO)： 該当しない

国連分類 (ICAO)： 該当しない

注意事項： 水漏れ、梱包ケースの損傷に注意する。

適用法令

労働安全衛生法： 施行令 18 条の 2 名称等を通知すべき有害物

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法)： 該当しない。

毒物及び劇物取締法： 該当しない。

その他の情報

記載内容のうち、含有量、物理化学的性質の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手出来る資料・情報・データ等に基づいて作成しておりますが、全ての資料を網羅したわけではありませんので取扱いには十分注意してください。